

具体的取組3-1-4 人権施策の推進

指標

人権啓発事業の参加者アンケートで、人権に対する理解が深まったと回答した割合
《旭区ふれあいシアター参加者アンケート》

目標値 80%以上

達成状況 93.1%



取組実績

- ・「人権週間記念事業・人権を考える区民のつどい」として「旭区ふれあいシアター」を開催（3月12日）
- ・「じんけんあさひ第24号」を発行（12月1日）
- ・大阪市人権啓発推進員旭区連絡会の開催 5回
- ・にほんご教室の開催 26回
- ・人権相談窓口の設置

戦略に対する取組の有効性

（ア）有効であり、継続して推進



じんけんあさひ第24号

29

戦略3-1の成果指標

アウトカム指標の達成状況

地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合
《地活協の構成団体へのアンケート》

目標 令和4年度までに88%以上



達成状況 93.1%



戦略のアウトカム指標に対する有効性

（ア）有効であり、継続して推進

具体的取組3-2-1 まちの魅力創出と編集・発信

指 標

- ①一般紙における旭区の魅力発信
- ②商店街に魅力を感じる区民の割合
《区民アンケート》

目標値

- ① 5件以上
- ② 75%以上

達成状況

- ① 8件
- ② 68.2%

取組実績

- ・旭区ブランドの認定 ブランド1件、お宝6件
- ・区の魚（イタセンパラ）の保全活動（コロナの影響により実績なし）PR7回
- ・小学校での花菖蒲栽培 8校参加
- ・音楽を通じたにぎわいイベント（コロナの影響により実績なし）
- ・あさひ、だいすき♪『旭区検定』の実施 1回
- ・大阪工業大学との連携事業の推進 2件
- ・空き店舗の勉強会の開催や若手商店主の誘致（コロナの影響により実績なし）
- ・インバウンド誘致（情報発信・体験メニュー）
- ・旭区魅力発信動画（外国語対応）制作
- ・旭区ブランド等を活用したイベントの実施 キーワードラリーの実施

課題や改善策

【課題】
取組の一部は、コロナの影響により、中止せざるを得なくなったが、多くの方が安全に参加できるよう、開催方法を検討する必要がある。

【改善策】
コロナの感染拡大状況を見極めながら、取組の実施に向けて感染防止策を徹底した準備を進めていく。

戦略に対する取組の有効性

（ア）有効であり、継続して推進

キーワードラリーの様子



31

具体的取組3-2-2 城北公園の魅力向上

指 標

城北公園フェア2021 区外からの来場者割合

目標値 70%以上

達成状況 未測定

取組実績

コロナの影響により、城北公園フェア2021は中止とした。

課題や改善策

【課題】
コロナ禍により、城北公園フェアはこの間連続で中止しており、商店街など関係先とイベントを通じた連携を進めていく必要がある。

【改善策】
城北公園をはじめ旭区ブランド等を活用して区全体を活性化していくため、小規模ながらも区民が旭区の魅力に触れられるようなイベントの開催を検討していく。

戦略に対する取組の有効性

（一）プロセス指標未設定（未測定）

城北公園フェア2019の様子



32

戦略3-2の成果指標

アウトカム指標の達成状況

地域のにぎわいや活性化が進んだと感じる区民の割合
《区民アンケート》

目標 令和4年度までに80%以上



達成状況 62.4%

順調でない

戦略のアウトカム指標に対する有効性

(ア) 有効であり、継続して推進

経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

【めざすべき将来像】

地震や台風、火災、河川氾濫等による災害の発生や被害の拡大を、自主防災組織の活躍により、最小限に食い止めることができる地域防災体制を確立するとともに防災意識の高いまちづくりをめざす。関係機関や地域と協働し、犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりをめざす。

戦略4-1 「ご近助」精神による防災体制の充実

- ・地域ごとの特性や熟度に応じた防災体制づくりを進める。
- ・災害時の初動に強い自助・共助（ご近助）の地域づくりをめざし、防災教育や防災意識の啓発を進めるとともに、必要な防災物資の配備を計画的に実施する。

具体的取組

1 地域防災・減災力の強化

戦略4-2 地域防犯力の強化

- ・防犯パトロール活動や防犯啓発を実施するとともに、区民による防犯ボランティア活動を支援することにより自主防犯活動の意識の向上を図り、安全で安心なまちづくりの取組を進める。特に防犯カメラの計画的な設置や自転車盗対策の強化について、警察署等と連携しながら重点的に取り組む。
- ・交通マナーの向上や、「交通事故をなくす運動旭区推進本部」による交通事故をなくす取組、放置自転車・自転車のマナーアップの取組を継続して実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりの取組を進める。
- ・やなぎ通りの歩行者・自転車の安全・安心をめざし、平成28年度に旭郵便局前に区役所が管理する駐輪場を整備した。今後、警察・建設局・地域・周辺事業者の協力を得て、やなぎ通りの歩道にある自転車を無くす。さらに、やなぎ通りを自転車の安全通行モデル路線として整備していく。

具体的取組

1 防犯・交通安全の対策

35

経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

戦略4-1 「ご近助」精神による防災体制の充実

具体的取組4-1-1 地域防災・減災力の強化

指 標

各家庭において、防災対策をとっている区民の割合<区民アンケート>

目標値 60%以上

達成状況 77.6%



取組実績

- 防災啓発
 - ・防災啓発講座 5回（受講者延べ80人）
 - ・広報あさひ「防災特集号」による防災啓発（10月）
 - ・地区防災計画(地域ごとの冊子)の配布 7地域（全10地域完成）
- 防災訓練
 - ・避難所開設訓練を含む防災演習・ワークショップ 2回
 - ・地域防災リーダー訓練(地域一体型防災訓練)を各校下で実施 2校下
 - ・区職員防災訓練(講義式研修)の実施
 - ・区医師会との連携訓練 1回
- 旭区防災教育事業
 - ・中学生防災教育プログラム実施 区内全4中学校で実施
- 防災拠点の整備・充実
 - ・コロナ対策用間仕切り（テント）を各避難所に配備
- 地域や関係機関等との連携
 - ・地域防災担当者合同連絡会の開催 7回
- 空家等対策
 - ・旭区空家相談員制度の創設
 - ・空家相談員を活用した空家に関する個別相談会の実施 11回
- 初期消火体制の維持
 - ・大型粉末消火器の設置 105台

戦略に対する取組の有効性

(ア) 有効であり、継続して推進

大型粉末消火器



36